

第3次隠岐の島町子ども読書活動推進計画（概略版）

～すべての子どもに読書の楽しみ・知る喜びを～



子どもたちが心身ともに健やかに成長し、自立した明るい未来を自らの手で切り開いていくためには、子どもの頃からの家庭教育・学校教育・社会教育が充実したものであることが望まれます。その中でも読書は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにするために欠くことのできないものです。

隠岐の島町では、2019年に第2次隠岐の島町子ども読書活動推進計画を策定し、各種施策に取り組んでまいりましたが、子どもを取り巻く生活環境や読書環境の変化を踏まえ、この度第3次計画を策定しました。

計画の期間

2025(令和7)年度～2029(令和11)年度の5年間

現状と課題（保育関係・学校関係アンケート、策定委員の意見などから）

- ・保護者の多忙感や子どもたちのスポーツ島外遠征の増加などから、週末に読書に親しんだり図書館へ出かける時間がとりづらい傾向にある
- ・スマホやタブレットを使用する子どもの低年齢化が進んでいる
- ・読書習慣のあった子どもでも中学生になると読書量が減少することが多い
- ・学校では授業で図書を使用する機会が減ったという報告がある
- ・多様な子どもたちに対する方策がとれていない

計画の基本

【基本目標】

- ①身近に本がある環境づくり
- ②読書への興味関心を高める取組の推進
- ③子ども読書に関わる人々同士が幅広く連携を図れる体制づくり
- ④活動を担う人材の育成

【重点目標】 今後5年間で重点的に取り組む

- ①乳幼児期から絵本に親しむ習慣づくりを進める
- ②デジタルと紙の本の最適なバランスを図る
- ③多様な子どもたちに対する取り組みを進める

主な施策

【家庭での読書習慣づくり】

- ・ブックスタート事業の継続と周知の徹底
- ・保育施設や学校で成長段階にあった本の紹介

【地域での読書環境づくり】

- ・隠岐の島町図書館、公民館図書室のサービスの充実
- ・図書館や公民館に来館できない子どもたちへの取り組み(宅配サービス等)

【保育施設・学校での読書環境づくり】

1. 保育施設
 - ・保育施設の図書の実充実
 - ・家庭での読書活動の支援
2. 学校
 - ・学校図書館の管理運営体制の平準化
 - ・デジタル媒体と紙媒体の本や情報を効果的に使えるような啓発
 - ・中学校と校区内小学校との連携

【子どもたちの読書環境づくりのための連携】

- ・子どもの読書に関わる人々が集まり情報交換する場の設定
- ・子どもたちが集まる場への本の設置

主な数値目標

項目	現状	2029年度
読み聞かせを週1回以上行う家庭(3~5歳)	53% ⇒	65%
ブックスタート利用率(3歳児向け)	56% ⇒	70%
公民館での読書普及イベント開催	0回 ⇒	年1回以上
学校図書館図書標準冊数95%達成の学校数	8校 ⇒	11校(全校)

